

# 橋本町長所信表明演説

## みんなできつくるこの日の出町!

平成30年第1回目の出町議会臨時会で、橋本町長が所信表明を行い、町議会と町民の皆さんに対して理解と協力を求めました。



平成30年第1回目の出町議会臨時会で所信表明演説を行う橋本町長 4月18日撮影

平成30年第1回目の出町議会臨時会の開会にあたり、私の今後の4年間の日の出町政に関する所信を申し述べ、町議会議員各位、並びに、町民の皆様のご理解、ご協力とご支援をお願い申し上げます。

私は、去る3月の日の出町長選挙において、私がこれまで進めてまいりました町政と私が掲げる政策に、議員各位をはじめ多くの町民の皆様のご支持とご支援をいただき、再選をさせていただきました。

ここに、心から感謝を申し上げますとともに、御礼を申し上げます。

私が町長就任以来、一貫して目指してまいりました町政運営の目標は、第1期橋本町政の所信表明

において申し上げましたように、「みんなできつくるこの日の出町」を合言葉に、活気あふれる、心身ともに豊かな、輝かしい日の出町を創りあげることであり、このことは全くゆるぎないものでございます。

しかしながら、社会経済状況や住民ニーズは日々変わっており、この変化への対応も非常に重要なことであります。本年度の施政方針でも申し上げましたが、松尾芭蕉の「不易流行」の意味するところを理解し、必要なものについては過去の政策・施策の定期的な見直しを行い、持続可能なものとしてまいります。

ここで、橋本町政第2期目の4年間に積み重ねてまいりました、政策等の実績の一部と今後の方向性等について申し上げます。

最初に、高齢者医療費の助成につきましましては、既に実施している75歳以上の方を対象とする制度のほか、70歳から74歳の方を対象として、自己負担額から一定額を除いて助成を行う制度を開始いたしました。

次に、保育園待機児童の解消につきましましては、待機児童の解消を図るため、関係者のご理解、ご協力を得て、私立保育園を1施設新たに設置したものでございます。

次に、子育てに関するサポートにつきましましては、子ども家庭支援センターやファミリーサポート事業などを推進してまいりましたが、まだまだ、ニーズは増加や多様化するものと思われることから、引き続き充実強化を図ってまいります。

次に、老朽化が著しい本宿小学校の改修につきましましては、昨年度に改修計画を策定し、本年度は実施設計を行ってまいります。

また、教育環境の整備の一環として、児童・生徒数の増加等によるクラス増については、全教室へエアコンの設置を随時行っております。

次に、(仮称)梅ヶ谷トンネルにつきましましては、長年にわたる議員各位のご支援、ご協力のもと、東京都への要請活動が結実し、青梅市側坑口の見学会の実施や、土地の買収も順調に進捗し、建設業者も決定したとお聞きしております。

ます。

次に、総合文化体育センターの建設につきましては、谷戸沢処分場受け入れの端緒でもある、「スポーツと文化の森設置構想」への協力という、当時の東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合設立準備委員会からの申入れを実現するため、(仮称)日の出町総合文化体育センター基本計画を東京たま広域資源循環組合からの要請に基づき作成し、今後、交渉を進めてまいりますので、何卒、議員の皆様全員の町と一体となる、積極的なご支援、ご協力をお願い申し上げます。

また、処分場に関連してこの場をお借りして申し上げますと、町内にある谷戸沢、二ツ塚の両処分場並びにエコセメント化施設について、町民の皆様に安心していただける安全な管理運営を前提として、現在、循環組合から交付されており、引き続き地域振興費につきましても、その協定期間が平成31年度末をもって終了し、私の任期中に新たな協定を締結することとなりますことから、この点につきましてもよろしくお願ひ申し上げます。

次に、(仮称)野鳥の森・こども自然公園につきましましては、設立準備委員会との協議のもと、管理施設の建設が進行しており、本年度末までには完成式典を行う予定でございます。

最後に、行財政改革につきましましては、平成18年策定の集中改革プランの期間終了後も行財政改革を継続的に実施しており、職員数の適正化や受益者負担、福祉単独施策の見直しなどを行ってまいりました。

今後、「入るを量りて出するを為す」を行財政の原則として町政を進めてまいります。

以上、第2期の実績と今後の方向性について申し上げますが、次に、その他の施策の今後4年間の方向性について、概略を申し上げます。

基本的に、町づくり、人づくりは、近視眼的な制度設計や政策ではなく中・長期的なビジョンに基づき、計画的に政策を実施すべきものであると考えております。従いまして、政策につきましましては、第4次長期総合計画の最終年

次である平成31年度までは、この計画の戦略プロジェクトである「躍進 ひのでーニュー5大作戦」

①日本一の福祉の町づくり、②ひのでA(安全)・A(安心)大作戦の展開、③豊かな創造性に富んだ児童・生徒を育成するための教育の充実による人づくり、④元気になる活気に満ちた商工観光業と農林業の振興、⑤総合文化体育センター並びに野外スポーツ施設の設置推進を中心に、施策の具体化を図り、更に充実、発展させてまいります。

具体的内容につきましては、本年度第1回定例議会において施政方針として申し上げますので、ご覧いただきたいと存じます。平成32年度からの第5次長期総合計画につきましても、計画的な行政を推進するため、町民アンケートの実施や関係諸団体との意見交換等を行うことなどにより、町民ニーズに基づく町民のための計画を策定してまいります。

最近、「着眼大局、着手小局」という言葉を知りました。



平成30年4月19日 日の出町長 橋本聖二

これを行政にあてはめてみますと、その意味は大局的見地で計画を立て、計画を実現するために、分野ごとに着実に業務を遂行するということと理解いたしました。これが、これは大変に示唆に富む言葉であり、これからの町政の運営に大いに参考になるものであると思います。

結びとなりますが、歴代の町長が引き継ぎ、築きあげてきた歴史と伝統に支えられた町政を、今後とも町民の皆様や議員全員の皆様と手を取り合い、次世代へ引き継いでまいります。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、議員各位と町民の皆様のご理解、ご協力と全面的なご支援を重ねてお願い申し上げます。私の所信表明といたします。